

平成24年度予算要求に係る新規事業採択時評価

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

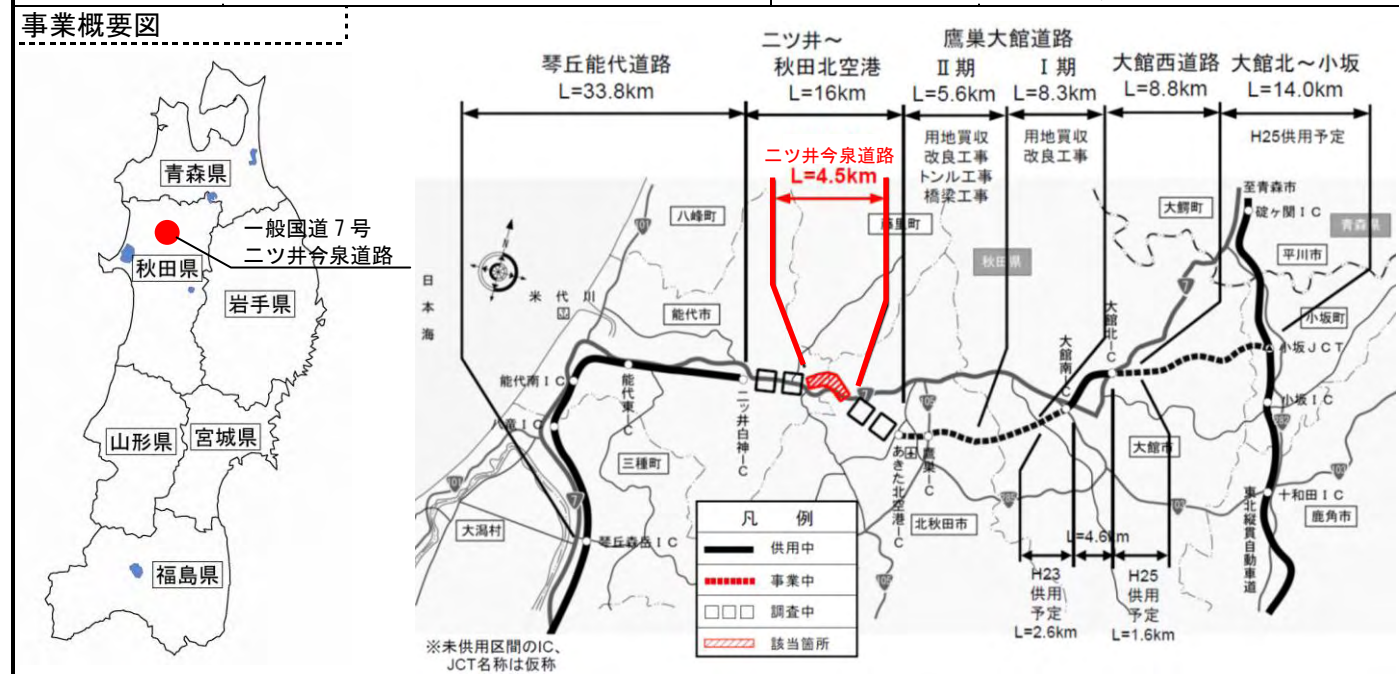
事業の概要

事業名	一般国道7号 二ツ井今泉道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：秋田県能代市二ツ井町小繋 至：秋田県北秋田市今泉	延長	4.5km		

事業概要
二ツ井今泉道路は、日本海沿岸東北自動車道の一部を構成する能代市二ツ井から北秋田市今泉を結ぶ延長4.5kmの自動車専用道路である。（日本海東北沿岸自動車道は、新潟県新潟市から青森県青森市に至る延長約320kmの高規格幹線道路であり、これまでに約167kmが供用済み）

事業の目的、必要性
当該区間の整備により、救急医療施設等への速達性の向上、地域の基盤産業であるリサイクル産業を支援、広域防災に資する道路ネットワークの強化等が図られる。

全体事業費：約150億円
計画交通量：約12,000台/日



関係する地方公共団体等の意見
【秋田県知事】・予算化に同意
・高速道路の連続性を確保するため、残る区間も早急に事業化が図られるようお願いする。

学識経験者等の第三者委員会の意見
・新規事業化については妥当である。
・防災上のニーズや最新の技術を踏まえ、防災面で使いやすく、コストのかからない道路構造と運用を目指し、最大限の工夫に努めること。

事業採択の前提条件
・費用対便益：便益が費用を上回っている
・手続きの完了：計画段階評価手続き完了（平成23年8月25日）

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.5	総費用：130億円 （事業費：119億円 維持管理費：11億円）	総便益：196億円 （走行時間短縮便益：151億円 走行経費減少便益：30億円 交通事故減少便益：15億円）	基準年：平成23年
	感度分析の結果				
	交通量変動	B/C=1.3	（交通量 -10%）	B/C=1.7	（交通量 +10%）
	事業費変動	B/C=1.4	（事業費 +10%）	B/C=1.7	（事業費 -10%）
	事業期間変動	B/C=1.4	（事業期間 +20%）	B/C=1.6	（事業期間 -20%）

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—
事故対策		○	秋田県平均死傷事故率の約7倍の箇所を含む当該区間の事故の減少が見込まれる。 【現況死傷事故率】313.2件/億台*。(現況)死傷事故率(県内平均)=44.3件/億台*。(7.1倍) ※ 当該区間に並行する一般国道7号における最大死傷事故率
歩行空間		—	注目すべき影響はない。
社会全体への影響	住民生活	◎	秋田県北地域の救急医療施設への速達性が向上 ・八峰町から北秋田市民病院へのアクセス時間が短縮（63分→51分） ・秋田県北地域（26.6万人）における北秋田市民病院への60分圏域人口が拡大。（約21.8万人（82%）→約23.9万人（90%）2.1万人増）
	地域経済	○	地域の基盤産業となるリサイクル産業の支援 ・秋田県北部エコタウン計画の小坂、大館地区と能代港との所要時間を短縮。 ・リサイクル産業及び救援物資輸送の拠点となる能代港や大館能代空港までの所要時間を短縮（能代港⇄大館地区73分→58分（15分短縮））
	災害	◎	緊急輸送道路の確保 ・並行する国道7号には災害に対し脆弱な区間が存在し、通行止め発生時の広域な迂回を回避。（能代市～大館市災害時129分→56分）
	環境	—	注目すべき影響はない。
	地域社会	○	主要な観光地へのアクセス向上 ・十和田湖⇄白神山地間の移動時間が137分から87分（50分短縮）となり観光振興へ寄与。
事業実施環境	○	整備に対する要望が強い。	

採択の理由

費用便益比が1.5と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、地域の救急医療施設への速達性向上、国道7号の安全性向上などが図られるほか、高速ネットワークの形成により基盤産業の支援、地域間交流の促進に寄与する等、当該事業の整備の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業を平成24年度予算要求の新規事業箇所として要求する。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。